

平成29年度（平成28年度実施事業）行政評価票について

1 実施方式

- (1) 事業評価（A票）・事務事業評価（B票）
- (2) 施策評価（S票）

2 事業評価（A票）・事務事業評価（B票）の実施【平成28年度同様】

(1) 対象事業の選定

ア 各課等が所管する全ての事業を予算体系の「大事業」とします。

イ 事業を性質別に分類（4つのタイプA～Dに分類）

※ 2ページ「所管事業調査要領」を御参照ください。

ウ 分類した事業の内、以下の2つに該当する事業（Bタイプ）を選定

- ・ 「市として政策判断等の裁量の余地がある」事業
- ・ 「サービス水準・成果の指標が設定できる」事業

エ 各課等が行政評価の対象とすることを希望した事業

(2) 対象事業及び事務事業（予定）

ア 対象事業 66事業

※ 対象事業一覧は、10ページを御参照ください。

イ 対象事務事業 137事業

※ 対象事務事業は、対象事業に連なる予算体系の「中事業」とします。

(3) 行政評価票

ア 事業評価（A票）：3ページ

イ 事務事業評価（B票）：4ページ（前回からの改正箇所表示：5ページ）

ウ 事務事業評価 採点基準表：6ページ

※ 前回の本委員会での委員意見の対応状況は、7ページを御覧ください。

3 施策評価（S票）の実施【平成29年度新規】

(1) 対象施策の選定

市長が行政評価の対象とすることが必要と認めた施策（取組）

(2) 対象施策（予定）

28施策

※ 対象施策一覧は、12ページを御参照ください。

(3) 行政評価票

施策評価（S票）：8ページ

※ 前回の本委員会での委員意見の対応状況は、9ページを御覧ください。

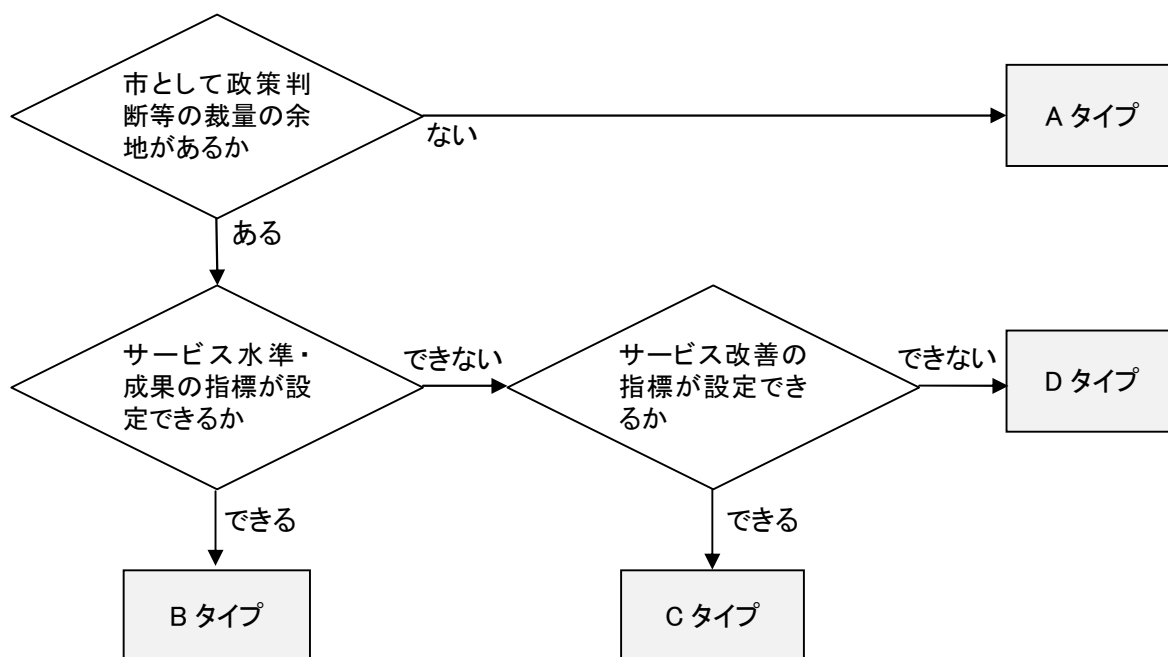
4 外部評価の実施

資料2-2「平成29年度外部評価実施及び選定方法案」を御覧ください。

所管事業調査概要【参考】

各課が所管する事業（予算項目の大事業）について、次に示す分類フローにて、事業を性質別に分類（タイプ分け）しました。

分類フロー



- ※ 裁量の余地とは、事業の制度、仕組み、事業規模（拡大や縮小・廃止）の変更等を市独自の判断で執行できる余地のこと。
- ※ サービス水準・成果の指標とは、事業を実施することで、対象者・受益者にもたらされるサービスのレベルや効果や成果、または達成したい状態にどれだけ近づいたかをあらわす指標のこと。
- ※ サービス改善の指標とは、行政側の努力や工夫により、ムダを省いたり、コストを削減したりといった効率化をあらわす指標のこと。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	—	事業名		担当部課	
------	---	-----	--	------	--

基本情報	総合計画	基本方針			会計		
		分野別項目			款		
		施策の進め方			項		
	まちづくり 行程表	フラッグ			目		
		政策分類			大事業		
	その他(関係法令、要綱等)						
事業開始の背景、経緯等							

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか)					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか)					
	事業を 構成する 事務事業	①		④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	予算					
			決算					
	人件費(B)	千円	決算					
総コスト(A)+(B)	千円	決算						

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A		目標					
			実績					
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など)
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理)

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性)
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか)

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名							
番号	①	事務事業名			款	項	目	大事業	中事業
事務事業の期間		事務事業開始年度			終了（予定）年度				

1. 事務事業の目的

対象 ・ 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
意図	(対象をどのような状態にしたいか)

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算	/	/			
		決算	/	/			

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

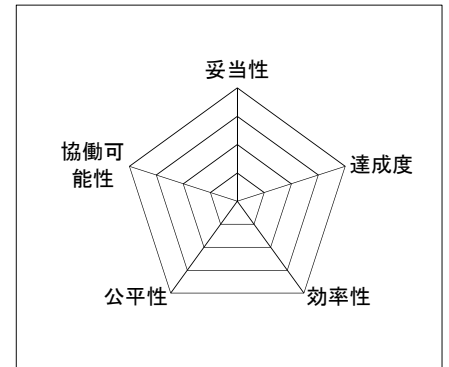
5. 前年からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>

(何をどのような状態に改善したのか)

6. 評価

項目	評価
妥当性	
達成度	
効率性	
公平性	
協働可能性	



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)

7. 今後の方向性

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

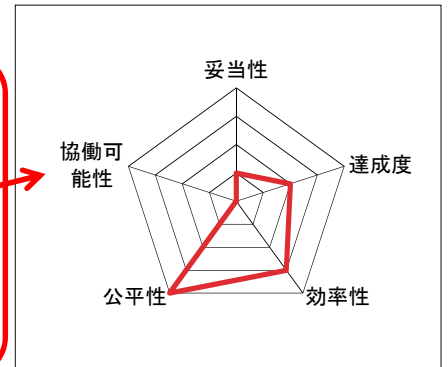
					事業名				
番号	①	事務事業名		款	項	目	大事業	中事業	
事務事業の期間		事務事業開始年度			終了（予定）年度				

1. 事務事業の目的

対象 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">変更（4段階評価） NO⑤</div> →
意図	(対象をどのような状態にしたいか) <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">変更（協働の可能性） NO③</div>

6. 評価

項目	評価
妥当性	1
達成度	2
効率性	3
公平性	4
協働可能性	-



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
事業費	千円	予算 決算	/	/	/		

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			目標	実績	目標	実績	目標
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 前年からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>

(何をどのような状態に改善したのか)

追加 NO①

【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)

【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)

追加 NO④

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

変更（4段階評価）NO⑤

【事務事業評価採点基準】

評価項目	4点	3点	2点	1点	— (該当なし)
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 上位施策の目的を達成するために不可欠な事務事業である。 市が実施することが不可欠な事務事業である。 廃止した場合の影響が極めて大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 上位施策の目的を達成するために必要な事務事業である。 市が実施することが必要な事務事業である。 廃止した場合の影響がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市が実施する必要性は必ずしも高くない。 廃止した場合に影響が少しある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市が実施する必要性は高くない。 廃止した場合に影響がほとんどない。 	
達成度	<p>目標を十分に達成している。(120%以上)</p>	<p>目標を概ね達成している。(90%~120%)</p>	<p>目標に達していない。(60%~90%)</p>	<p>目標を大幅に達していない。(60%未満)</p>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 1件あたりのコストや時間からみて、効率的に事業を実施している。さらに効率化できる余地がほとんどない。 	<ul style="list-style-type: none"> 1件あたりのコストや時間からみて、概ね効率的に事業を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 1件あたりのコストや時間からみて、効率化できる余地がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 1件あたりのコストや時間からみて、効率化できる余地が大いにある。 	
公平性	<ul style="list-style-type: none"> 対象者、受益者が政策的に適正である。 受益者負担がある場合、他市町からみても妥当である。または受益者負担は該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者、受益者が政策的に概ね適正である。 受益者負担がある場合、他市町からみても概ね妥当である。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者・受益者を見直す余地がある。 受益者負担の内容を検討していく余地がある。又は新たな受益者負担を検討する余地がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者・受益者を見直す余地が大いにある。 受益者負担の内容を検討していく余地が大いにある。又は新たな受益者負担を検討する余地が大いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> 該当なし
協働の可能性	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働参加、参画をすすで実施している。さらに協働化できる可能性がほとんどない。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働参加、参画をすすで実施している。さらに協働化できる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働参加、参画をすすで実施している。さらに協働化できる可能性が大いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働参加、参画を実施しておらず、今後市民協働参加、参画が可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> 該当なし

変更（協働の可能性）NO③

対応表【事業評価(A票)・事務事業評価(B票)】

NO	委員意見	意見への対応
1	行政評価票にどのような改善をしたかを明示できるとよい。	事務事業評価(B票)に「前年からの改善状況」を追加する。(前回提示済み)
2	事務事業評価(B票)の「評価」で評価点を選んだ理由の明示が必要と考える。	『達成度』以外は定性的な評価であること、評価点基準表を明示していることから、現行のまま枠を新設しないこととし、特記事項は、コメントに記入するような方策としたい。
3	・事務事業評価(B票)の評価項目の『協働の余地』について、『協働の可能性』の方がよい。 ・評価点基準表でも、表現を変えた方がよい	・評価項目について、『協働の可能性』に変更する。 ・評価点基準表も表現を変更する。
4	一番褒めてもらいたいのは何なのかを書く欄があったり、失敗したことを書く欄があってもよい。	事務事業評価(B票)で、「評価」に『アピールポイント』及び『ウイークポイント』を追加する。
5	事務事業評価(B票)の「評価」で評価点について、『達成度』以外は主観的なもので、5段階評価より、4段階評価の方が中間評価がなく、「良いか、悪いか」の判断ができるため、検討してはどうか。	『達成度』以外は定性的(主観的)な評価であり、中間評価がなく、「良いか悪いか」が分かりやすいことから、『達成度』を含めて、4段階評価に変更する。
6	事業評価(A票)及び事務事業評価(B票)の「環境変化」について、目標を立てる以前に把握しておくべき事項であるように思う。	「環境変化」について、目標を立てる前に把握すべき事項もあるが、事業を実施していくなかで変化があることもあるため、枠の位置については、A票及びB票とも現行どおりとしたい。

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	—	施策名				
担当部課			関係部課			
基本情報	総合計画	基本方針				
		分野別項目				
		施策の進め方				
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				
	その他(関係法令、要綱等)					
施策開始の背景、経緯等						
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか)				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか)				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか)				
	施策に係る 主なコスト	①	千円	②	千円	
目標・成果推移	施策に係る取組み	27年度	28年度	29年度	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
	A	目標	目標	目標	目標	目標
		実績	実績			
	B	目標	目標	目標	目標	目標
		実績	実績			
	環境変化	他市町での取組状況や 施策を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)			
改善状況	前年度からの 改善点	(何をどのような状態に改善したのか)				
評価	目標達成状況	(目標・成果推移に対する達成状況や進捗状況など)				
	課題	(目標達成状況を踏まえ、課題を整理)				
今後	今後の 方向性、 改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など)				

対応表【施策評価(S票)】

NO	委員意見	意見への対応
1	<p>「施策の目的等」に『現状と課題』、『施策実現のための方策』を付け加える必要がある。また、方策は複数考えられると思う。</p>	<p>・『現状と課題』については、「基本情報」の『事業開始の背景、経緯等』並びに「施策の目的等」の『施策の内容』、『施策の意図』等で対応したい。</p> <p>・『施策実現のための方策』については、「目標・成果推移」の『施策に係る取組み』で対応したい。ここでは、値を目標・成果としない取組を記載することも可能であり、また方策は複数考えられるため、取組の記載枠は2つしかないが、評価票の作成時において、適宜、枠を追加することを可とするなど、柔軟に対応したい。</p>
2	<p>「評価」に『施策の妥当性』(施策それ自体が妥当だったのかの評価)を付け加える必要がある。</p>	<p>『施策の妥当性』を自己評価するのは、適当でないと考えるため、付け加えないこととしたい。</p>

<参考>事業評価対象一覧(予定)

NO	担当課等名	事業名 (A票)	事務事業数 (B票)
1	経営企画課	公共交通事業	3
2	情報課	市ホームページ運用事業(広報事業)	1
3	情報課	広報事務等事業(広報事業)	5
4	情報課	広聴事業	1
5	行政課	平和行政事業	1
6	行政課	行政改革推進事業(企画事務事業)	1
7	行政課	選挙啓発事業	1
8	財政課	ふるさと寄附金推進事業	1
9	市民課	行政サービスコーナー管理事業	1
10	たつせがある課	男女共同参画推進事業	1
11	たつせがある課	地域間交流事業	1
12	たつせがある課	大学連携事業	3
13	たつせがある課	国際化事業	3
14	たつせがある課	商工振興事業	3
15	たつせがある課	市民まつり事業	1
16	たつせがある課	観光交流推進事業	1
17	安心安全課	交通安全事業	2
18	安心安全課	防犯事業	3
19	安心安全課	防犯街路灯事業	2
20	安心安全課	防災訓練事業	1
21	安心安全課	自主防災活動支援事業	2
22	環境課	環境基本計画推進事業	3
23	環境課	清掃センター運営事業	1
24	環境課	ごみ啓発事業	1
25	生涯学習課	社会教育事務事業	1
26	生涯学習課	成人式事業	1
27	生涯学習課	家庭教育事業	2
28	生涯学習課	公民館事業	1
29	生涯学習課	生涯学習推進事業	1
30	生涯学習課	社会体育団体補助事業	1
31	生涯学習課	色金山歴史公園管理運営事業	1
32	生涯学習課	古戦場桜まつり事業	1
33	生涯学習課	保健体育・学校開放事業	1
34	生涯学習課	地域社会体育事業	5
35	生涯学習課	総合型スポーツクラブ運営事業	1
36	福祉施策課	地域福祉推進事業	4

37	福祉課	社会福祉事務等事業(社会福祉事業)	2
38	福祉課	障がい者福祉事業	4
39	福祉課	生活保護事業	3
40	福祉課	災害救助事業	1
41	長寿課	介護予防事業	1
42	長寿課	高齢者日常生活補助事業	5
43	長寿課	高齢者福祉事業	15
44	長寿課	高齢者優待事業	3
45	長寿課	老人憩の家管理事業	1
46	長寿課	生きがいセンター運営事業	1
47	子育て支援課	ファミリーサポートセンター運営事業	1
48	子育て支援課	子育て支援センター運営事業	1
49	子育て支援課	放課後児童クラブ事業	1
50	子育て支援課	利用者支援事業	1
51	子育て支援課	児童館利用促進事業	2
52	子育て支援課	放課後子ども教室事業	1
53	健康推進課	健康づくり推進事業	2
54	みどりの推進課	農業振興事業	2
55	みどりの推進課	平成こども塾事業	2
56	会計課	会計管理事業	2
57	消防本部	消防予防事業	3
58	消防本部	消防活動事業	5
59	消防本部	消防補助事業	1
60	消防本部	消防団運営事業	4
61	給食センター	給食調理事業	2
62	中央図書館	中央図書館事業	3
63	福祉施策課	包括的支援事業(生活支援体制整備等)	1
64	保険医療課	国民健康保険・趣旨普及事業	1
65	保険医療課	保健衛生普及事業	1
66	保険医療課	特定健康診査事業	2

(事務事業数合計) 137

<参考>施策評価対象一覧(予定)

NO	担当課等	施策名
1	人事課	時間外勤務の削減
2	人事課	女性管理職登用
3	行政課	文書の削減計画
4	財政課	5S運動
5	財政課	市役所周辺整備
6	たつせがある課	リリモテラス構想
7	安心安全課	交番誘致事業
8	安心安全課	安心メール事業
9	環境課	自然環境調査
10	生涯学習課	スポーツターミナル構想
11	生涯学習課	古戦場公園再整備事業
12	福祉施策課	地区社会福祉協議会の推進
13	長寿課	在宅医療・介護連携事業の推進
14	長寿課	福祉の家利活用推進
15	長寿課	敬老事業
16	子育て支援課	育休退園後の育児サポート事業
17	子育て支援課	子ども教室と児童クラブの一体型の推進
18	土木課	狹隘道路事業
19	土木課	香流川近自然工法による整備
20	土木課	道路維持修繕
21	土木課	公共物の管理の移行
22	みどりの推進課	里山保全事業
23	みどりの推進課	都市公園の整備
24	下水道課	下水道事業の拡大抑制、汚泥処理方法
25	下水道課	し尿処理施設の代替え
26	給食センター	給食の提供
27	消防本部総務課	消防団の組織見直し
28	消防本部総務課	消防広域化